

# 令和元年度 市民講演会を開催しました

テーマ：在宅医療ってなあに？ ～あなたを支える医療と介護～  
今は大丈夫…でも、これからのことを一緒に考えてみませんか？  
開催日：令和元年12月6日（金） 会場：本野ふれあい会館 参加者：50名

## 【講師】

諫早市高齢介護課

//

宮本外科医院

ふじた歯科医院

パサージュしらぬひ薬局

竹下 潤 様

中島 梨奈 様

宮本 俊吾先生

藤田 浩一先生

宮崎 彰直先生

## 【講演テーマ】

「ご存知ですか？介護保険」

「在宅医療ってなあに」

「訪問歯科診療について」

「薬剤師が訪問します」



今回は、北部地域包括支援センター圏域の本野地区の方を対象に、医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して生活が出来る「在宅医療」について、理解を深めてもらうことを目的に開催しました。

初めに、行政からは介護保険申請方法や相談窓口などについて説明がありました。宮本先生は、時には笑いも交えながら、分かりやすく丁寧にまた終末期の心づもりなどについて講演を頂きました。藤田先生は、歯周病と動脈硬化や呼吸器疾患などの病気との関係など「口腔ケア」の大切さを話されました。宮崎先生は、処方された薬を飲みやすく、また飲み忘れがないように工夫されていることなどを講演されました。



講演会に参加された方からは、「かかりつけ医の大事さを理解できた」「看取りのあり方についてかながえさせられた」「医療に対し熱心な先生方と思った」などのご意見を頂きました。

当センターでは、これからも市民の皆様を対象に、市内各地域で「在宅医療と介護」に関する講演会を開催して行くこととしています。



# 令和元年度「在宅医療・介護に関する市民講演会」アンケート集計

\*テーマ：在宅医療ってなあに？ ～あなたを支える医療と介護～

今は大丈夫…でも、これからのことを一緒に考えてみませんか？

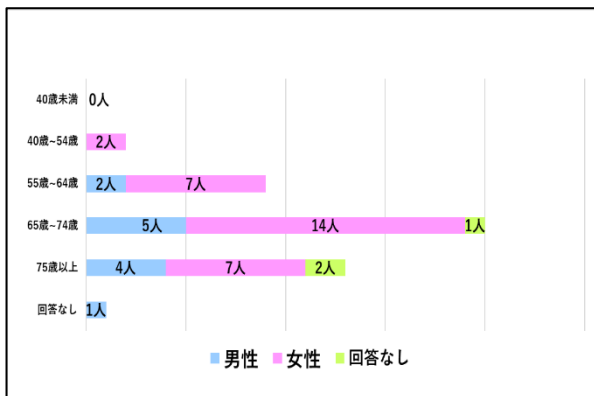
\*開催日：令和元年12月6日（金） \*会場：本野ふれあい会館 多目的ホール

\*講演プログラム

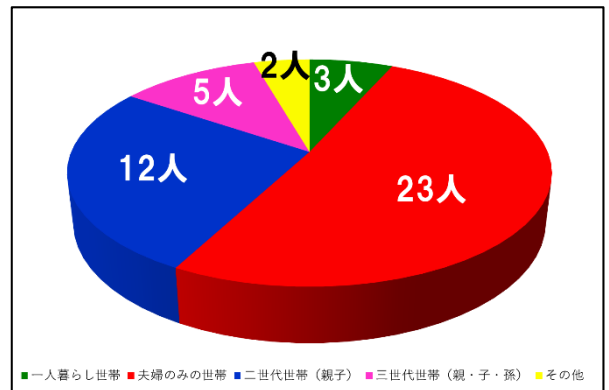
- ①「ご存知ですか？介護保険」 諫早市高齢介護課 竹下 潤 様  
〃 中島 梨奈 様
- ②「在宅医療ってなあに」 宮本外科医院 宮本 俊吾 先生
- ③「訪問歯科診療について」 ふじた歯科医院 藤田 浩一 先生
- ④「薬剤師が訪問します」 パサージュしらぬひ薬局 宮崎 彰宣 先生

参加者数	50人
アンケート回答者数	45人
回収率	90%

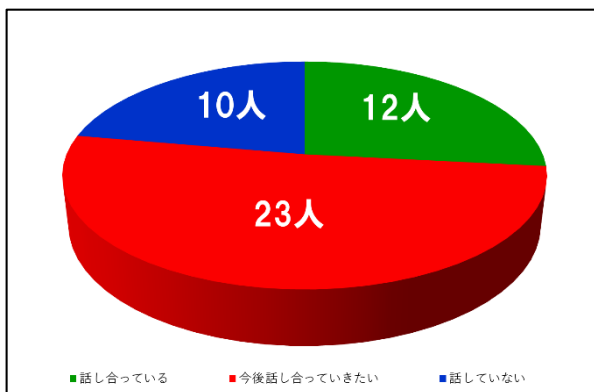
## (1)性別・年齢



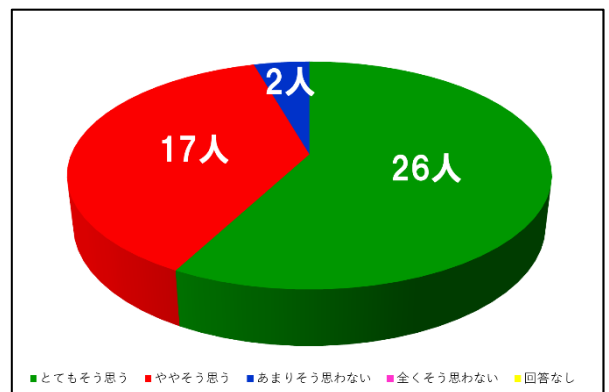
## (2)現在、誰と住んでいますか



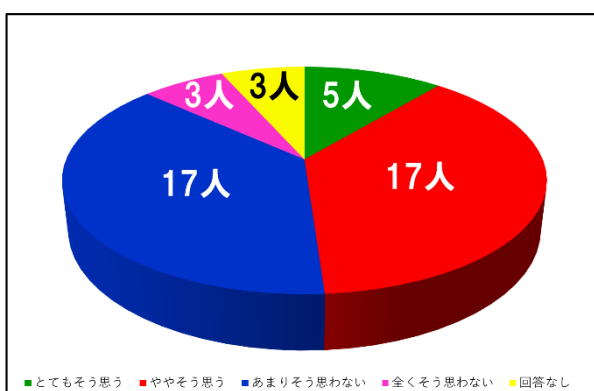
## (3)介護が必要になった場合について、 家族と話し合ったことがありますか



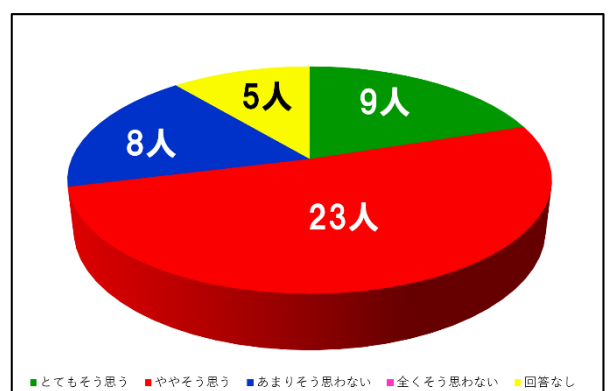
## (4)自分や家族の望む医療や介護について、 家族と話しあった方がよいと思いますか



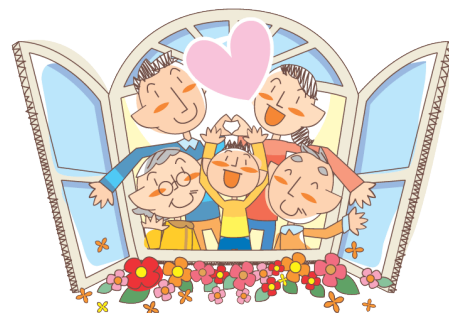
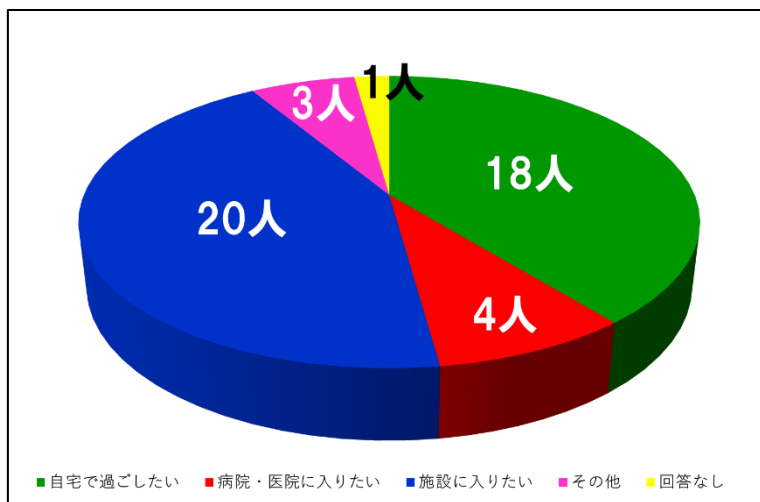
## (5)出来れば介護は家族でする方が 望ましいと思いますか



## (6)介護が必要になったとき、 家族の世話になりたくないと思いますか



## (7)介護が必要になったとき、どこで過ごしたいですか



### ■ 自宅で過ごしたい

- ①妻が私より遅くまで生きていたら、自宅で過ごしたいですが、子供も遠くにいるので迷惑をかけられないので。
- ②自分では自宅で過ごしたいと思っていますが、家族の負担が大きくなりすぎたときには、病院などに行かなくてはならないと思います。
- ③自宅だったら、精神的に痛みもやわらぐのではないのでしょうか。気持ちも大事だと思います。
- ④なるべく自宅が良いが、痛みなどに耐えられなくなって来たら、又は体の自由が動かなくなったら病院の世話になってもやむを得ない。
- ⑤医療費が払えない。
- ⑥住み慣れた自宅で最期を迎えたい。
- ⑦家で自分の好きなように過ごしたいから。
- ⑧排泄面で迷惑をかけるようになったら施設に入りたい。
- ⑨自宅が気持ち的にゆっくりなるな～と思っています。

### ■ 病院・医院に入りたい

- ①気が楽だと思う。
- ②安心感があるから。家族が大変だから。

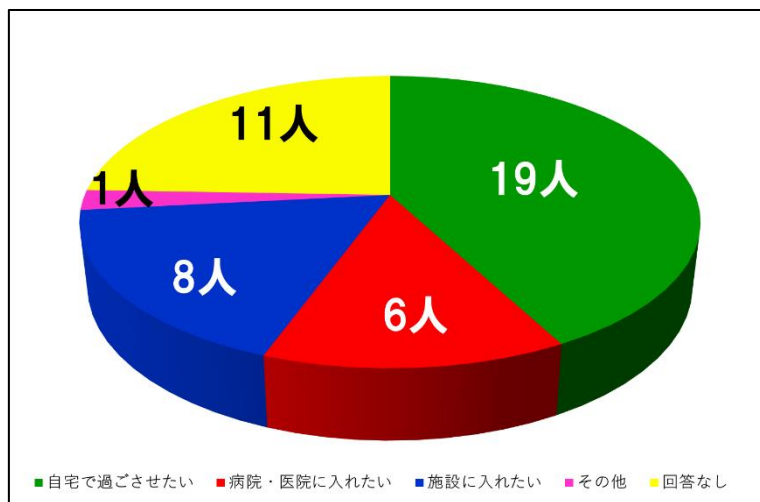
### ■ 施設に入りたい

- ①迷惑をかけたくないから、妻が私より先に死亡したら、施設入所予定。
- ②家族が近くにいないので施設に入りたい。
- ③家族に迷惑や負担をかけたくない。
- ④今まで義母を見てきたが、一人ではとても大変だった。嫁一人では、家庭内だけの介護は大変でした。
- ⑤家族に迷惑をかけたくないから。
- ⑥家族に負担をかけたくないから。
- ⑦子供に負担をかけたくない。
- ⑧家族・子供たちにはできるだけ迷惑をかけたくない。一番の希望は自宅でも思いますが、難しいかと思っています。
- ⑨自宅で過ごしたいけど、見てくれる者がいない。
- ⑩息子（独身）しかいないので、家では無理と思う。
- ⑪程度にもよるが、寝たきりになったら。

### ■ その他

- ①自宅で過ごしたいが家族がいない。

## (8) 家族が介護が必要になったとき、どのようにしたいですか



### ■ 自宅で過ごさせたい

- ①妻が介護が必要になった時には、私ができる限り自宅で介護しようと思っています。
- ②私の父が入院していたときは、卒業したところでしたので、私が最後まで看病しました。介護する人がいれば、出来るだけ病院ではなく、自宅が本人もよかったのではないかと思います。
- ③自宅での訪問看護も利用しながら、生活したいです。
- ④両親にはそうした。
- ⑤本人の希望を聞きたい。かなえたい。可能であれば自宅で。
- ⑥出来る範囲で。無理になったら病院や施設も検討したい。
- ⑦できるだけ自宅で過ごさせてあげたいが、限界はある。
- ⑧最後は自宅で見送りたいと思いますが、でもできるか？
- ⑨私は今自宅で主人を介護しています。本人が望んでいるのでそうしています。
- ⑩兄弟や家族と協力して看病できれば出来るだけ自宅で過ごさせたい。治療が必要な時は、病院で診てもらい、いよいよ治療も出来ない時は自宅にと思っています。
- ⑪自宅で過ごしたいけど介護するものがないし、施設も少ないし、先が不安。
- ⑫程度による。

### ■ 病院・医院に入れたい

- ①専門家に任せたい。
- ②大変だから。

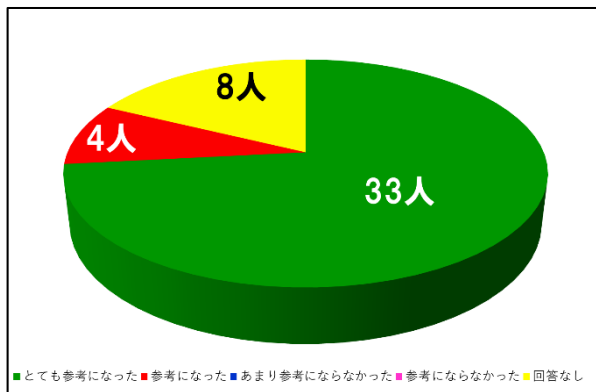
### ■ 施設に入れたい

- ①私自身87歳で、人の世話になる年齢ですが、淋しいけど思うように出来ません。
- ②家庭には行き届かないことが多い。
- ③夫との話し合いで、お互いにそうしよう（施設に入る）と二人の間で決めている。
- ④高齢のため介護できない。

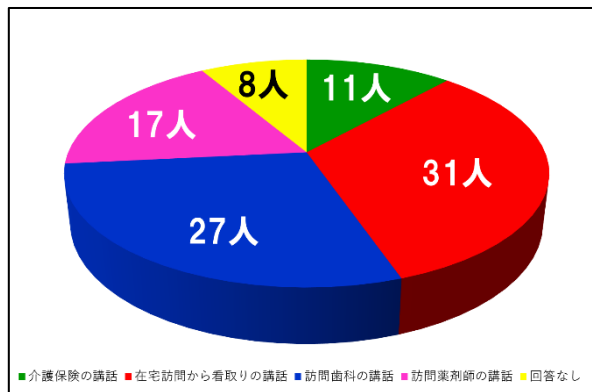
### ■ その他

- ①家族でしたいですが、一人では無理です。

(9)本日の講演は参考になりましたか



(10)特に参考になった講演はどれですか (複数回答可)



(11)本日の講演会についてご意見をお聞かせください

- ①口腔ケアがこんなにも大事か初めて知りました。
- ②訪問歯科、訪問薬剤師がいらっしゃると初めて知りました。大変勉強になりました。
- ③看取りの在り方について、特に考えさせられた。
- ④丁寧な講演ありがとうございました。
- ⑤とても良かった。今日話を聞いて良かったし、友達から今日の講演を誘ってもらって良かった。
- ⑥非常に勉強になりました。
- ⑦主人と二人暮らしですが、二人とも80歳以上です。娘が長崎市内におり、毎週どこかへ出かけています。終末期の家族の心づもりが大変勉強になり、今後家族で、話し合っておきたいと思いました。
- ⑧看取りでの死がこんなに気持ちが見送れるのかと感じました。少し、最後での死が自宅で出来れば幸せだな～と思いました。在宅訪問医療の話がとても勉強になりました。
- ⑨親の最期を看取ってききましたので、ああそうだったなあ～と思い出しました。介護サービスにも大変お世話になり助かりました。
- ⑩かかりつけ医の大事さを理解できました。
- ⑪とても勉強になり、知らないことが多く今日は出席できとても感謝です。今までこんな講演は初めて受けました。ありがとうございました。
- ⑫とても良いお話を聞かせていただいてありがとうございました。今後在宅医療が増えることを望みます。
- ⑬わかりやすく説明していただき良く理解できました。口腔ケアの必要性が改めて大事だと気づきました。講演会の開催時間をもっと早めていただければと思いました。
- ⑭先生のお話はとても分かりやすかった。開始時間が18時か18時30分だと良かった。
- ⑮宮本先生、藤田先生、宮崎先生、大変ためになりありがとうございました。
- ⑯本当に医療に対し熱心な先生方だと思いました。仕事の後のお疲れの中、とても素晴らしい講演だったと思います。ありがとうございました。
- ⑰宮本先生のお話がとても参考になりました。

\*その他 (開催時期・時間)

- ①昼間ですともっとおじいちゃん、おばあちゃんも参加できると思いますが、ドクターに講演は難しいですね。治療がありますね。



## 質問と回答

### 質問 ①

藤田先生の講演の中で、森山地区でのアンケートで「介護が必要になった時は施設がいい」と希望した人が半数以上であったとのことでしたが、宮本先生の講演では「最後を迎える時には半数以上は自宅がいいと希望している。」とのことでした。

これは、もう先が見えてきて、最後の最後に自宅に戻って数日間でも自宅で過ごしたいとの思いで、自宅に帰るのではないかと私は思うのですがいかがでしょうか？

また、歯科では開業の半数以上の先生が訪問されているとのことでしたが、訪問診療をされる医科の先生は、まだまだ少ないのではないかと考えているのですがいかがでしょうか？

### 回答：宮本先生

森山地区の結果をどうみるかですが、地域の特性もあるのではないかと思います。希望されることと現実、また厚生労働白書などいろいろなことから考えなくてはいけないと思います。最近は女性の社会進出も言われている中「在宅で」となって、家族が仕事をやめて介護をするとなると経済的損失もあるし、どちらが正しいということではないと思います。

施設で過ごしていた人が最後に家に帰り、亡くなるということはほとんどありません、私も経験したことはありません。そのまま施設での看取りとなることが多いです。

また、歯科の先生方は半数以上、訪問診療をされており活発であると思えました。訪問診療もこれから増やしていくような制度になって行く、行かざるを得ないと思っています。

### 質問 ②

将来的には在宅医療が増える必要があると思いますが、現実には少ない。国の政策も増やしていくことになると思いますが、在宅診療を担う先生方の考えはどうなのでしょう？

### 回答：宮本先生

病院に入るということは、何らかの生きるための治療を希望しているということになります。一方、在宅では自然に最期を迎え自然に亡くなることを希望することになります。在宅を担当していて、大変なこともあります。夜寝ていても、お酒を飲んでいても、外出をしても、何かあった時は電話がかかってくることもあります。働き方改革など言われていますが…

問われているのは「医師の覚悟」ではないかと思っています。医師の仕事のひとつとしてやっていくことができるか、医師としてのあり方、専門職としての在り方が問われていると思います。

### 質問 ③

家に 84 歳の母がいます。まだ在宅医療は受けていないのですが、かかりつけの先生はいます。在宅医療を受けていなくても、もしもの時などかかりつけの先生に連絡をしてよいのでしょうか？

#### 回答:宮本先生

お母さんの外来診察に家族も一緒について行き、かかりつけの先生に「今は元気だけど、もしもの時にはどうしたらよいですか？」を事前に相談しておくの良いと思います。

よく「先生、まだお迎えがきません。」と患者さんに言われます。私は、「心配せんでよかよ。いつかはお迎えがくるからね。生かされている間は生きてください。亡くなる時がきたら、無理に生かすような治療はせず、楽に苦しまずに逝けるよう努力しますからね。」と話しています。家族の方とも前もって話をしておいて、その時が来ても救急車は呼ばないようにと言っています。

どうしようかと思うことは、かかりつけ医師と話をしておくことです。話し合いをすること、これがかかりつけ医師の意義であると考えています。

